

# バケット低温流通を核とした切花の出荷規格

平成16年10月  
新花き生産流通システム研究会

国産切花の需要拡大のためには、日持ち性の優れた切花を消費者が納得する価格で安心して購入できるよう、供給体制を整えることが不可欠です。新花き生産流通システム研究会（会長：相馬正一（社）日本花き卸売市場協会会長）では、バケット低温流通を核として、切花の生産・流通の合理化を進めるとともに品質を向上させる新しい生産流通システムの構築と普及に取り組んでいます。

「バケット低温流通を核とした切花の出荷規格」は、本研究会の活動の一環として、新出荷規格に関する検討会で案が取りまとめられ、幅広く花き業界関係者の意見聴取を経て策定されたものです。

今後は、生産者、出荷団体、卸売・仲卸、小売等関係者のご理解とご協力を得て、当研究会の提案・推奨するこの出荷規格が普及・定着することにより、バケット低温流通の合理化・効率化が促進されるとともに、花きの用途に的確に対応した生産・流通を通じて新たな需要拡大が図られることを期待しております。

## < 出荷規格のポイント >

- ・ 階級は、草丈を明確にして流通の円滑化と利用者に分かりやすい情報提供を行うために、原則として10cm単位の「cm」表示とする。  
(従来のL、M、S等の表示はしない。)
- ・ バケット低温流通された切花では、基本的に切り戻しが不要であり、ホームユース用の短茎需要に対応するため、品目に応じて短茎サイズの区分を設定する。
- ・ 同一バケットには、1品目・1品種・1階級・1等級を基本とする。  
なお、必要に応じ、異品種、異階級、異等級の混入を認めるが、異品目の混入はしない。
- ・ 表示は、品目名、品種名、等級、階級（草丈）、入れ本数、出荷者（団体）名、JFコード（日本花き取引コード）の品種コード、原産地を明示する。（原産地は省略可。）

## 1 基本的考え方

### (1) 目的

新花き生産流通システム研究会では、国産花きの需要拡大を図るため、消費者の求める日持ちの良い切花の供給を図っていくことが必要不可欠との観点から、そのための一手法として「バケツ低温流通を核とした新しい花き生産流通システム」の構築、普及に取り組んでいるところである。

また、産地においても、日持ちの良い切花の供給を図るためにバケツでの出荷の取り組みが増えているなど、近年急速にバケツ低温流通が増加している。

研究会では、バケツ低温流通の円滑な普及を図るために、平成14年度に切花用バケツの統一規格を、平成15年9月に「バケツ低温流通を核とした切花流通における品質管理マニュアル」を提案・推奨してきたところであるが、出荷規格についてもバケツ低温流通に対応した規格の提案を行うこととした。

バケツ低温流通においては、台車等での輸送が効率的であるが、積載のために高さ＝草丈が明確であることが必要でありcm単位の規格が不可欠であること、バケツ低温流通では束売りやホームユース用の短茎等の販売が期待されること等から束本数、短茎用の規格の設定等が必要である。また、小売業者等の利用者へのわかりやすい情報提供をしていくためにも草丈をcm単位で表示していく必要がある。

このような観点から、関係者等の意見を踏まえ、バケツ低温流通に対応した出荷規格を提案する。

### (2) 出荷規格案の対象

この出荷規格は、バケツ低温流通を中心とした切花を対象とする。

階級区分は、当面、バケツ低温流通が進みつつある主な品目のうち「バラ」、「シュッコンカスミソウ」、「トルコギキョウ」の3品目について定めた。

## 2 階級(草丈)

(1) 階級は「cm」とする。(従来のL, M, S等の表示はしない。)

(2) 区分は原則として10cm単位とする。(区分は幅ではない。)

(3) 草丈は、原則として切花の最下端から最上端までの長さとする。

階級は、草丈を明確にして流通の円滑化等を図るとともに、利用者にわかりやすい情報提供が重要であるためL, M, S等の表示はせず、表示は「cm」とする。

区分は、現行の流通実態を踏まえ、原則10cm単位とする。  
また、草丈を明確にするため、区分は幅ではなく10cm単位とする。

バケツ低温流通では、基本的に切り戻しが不要であり、また、新たにホームユース用の短茎需要があること等から、品目によっては短茎サイズの区分を設けることとする。

#### (4) 主要品目の階級

バラ		70cm	60cm	50cm	40cm	30cm
シュッコンカスミソウ	80cm	70cm	60cm	50cm	40cm	
トルコギキョウ	80cm	70cm	60cm	50cm	40cm	

(注) 上記以外の区分を設ける場合には、実際の草丈を表示する。

バラは、ホームユース用の短茎需要があること、既に短茎の品種が多く流通していること等から30cm区分を設定する。

シュッコンカスミソウは、ミニブーケ用の添え花等の短茎需要があること等から40cm区分を設定する。

トルコギキョウは、長茎の新品種の普及に対応して一定の流通量があることから、80cm区分を設定する。

### 3 束本数及び入れ本数

(1) 束本数は、原則として1束10本とする。

ただし、1束本数が10本でない場合は、バケツ等に1束本数を表示する。

(2) 入れ本数は一律に規定することは難しく、バケツ等に入れ本数を表示する。

品目、品種、階級、出荷時期等によりボリュームが異なることから、バケツの規格に対応した入れ本数を一律に規定することは難しく、現段階では規定できない。このため、バケツ等に入れ本数を表示することとする。

なお、バラ、シュッコンカスミソウ、トルコギキョウの代表的な品種等について、バケツの規格に応じた入れ本数を実証調査したので、参考事例として、末尾(6頁)に示す。

#### 4 同一バケット内の混入

- (1) 同一バケットには、1品目・1品種・1階級・1等級を基本とする。
- (2) 必要に応じ、異品種・異階級・異等級の混入を認めるが、バケットに各品種名、階級、等級を表示することとする。(異品目の混入はしない。)

流通の効率化を図るためには、1品目・1品種・1階級・1等級が望ましいが、流通実態や販売形態等を踏まえ、異品種、異階級、異等級の混入は認めることとする。

ただし、異品目の混入はしないこととする。

#### 5 バケットの規格

「切花用バケットの統一規格」(新花き生産流通システム研究会提案・推奨)に準拠したバケットを使用する。

<統一規格バケットの寸法：バケットの外形の最大寸法>

- |       |         |     |       |
|-------|---------|-----|-------|
| ・ (縦) | 400mm x | (横) | 300mm |
| ・     | 350mm x |     | 250mm |
| ・     | 300mm x |     | 200mm |
| ・     | 240mm x |     | 240mm |

#### 6 等級(品質)

- (1) 等級(品質)区分は、品質のよいものから「秀」、「優」、「良」とする。
- (2) 等級は、花・茎・葉のバランス、花形・花色、病虫害、損傷、切り前等を評価して識別する。

我が国では、等級は各産地の販売戦略に応じて産地ごとに区分けされており、等級区分の内容(基準)を全国一律に規定することは困難な状況にある。

ただし、等級区分が多くなることは流通等に支障をきたすこととなるため、簡素化して呼称を統一することとする。

## 7 品質管理

採花から出荷までの品質管理については、「バケット低温流通を核とした切花流通における品質管理マニュアル」(新花き生産流通システム研究会提案・推奨)に準じて行う。

## 8 表示

(1) 表示については、品目名、品種名、JFコード(日本花き取引コード)の品種コード、等級、階級(草丈)、入れ本数、出荷者(団体)名、原産地を明示する。ただし、出荷者名で産地が特定できる場合は、原産地を省略することができることとする。

(2) また、必要に応じて輪数を表示する。

流通の合理化と、品種名の明確化、品種特性等の情報を入手する手段として有効であることから、JFコードの品種コードを表示することとする。

注：JFコードの品種コードとは、日本花き取引コード普及促進協議会が日本国内で流通している花きの品種ごとに設定している5桁の数字

消費者等への情報提供等を図る観点から、原産地を表示することとする。基本的に生産された都道府県名、原産国名を明示することとするが、出荷者名で産地が特定できる場合は、原産地を省略することができることとする。

## 9 推奨事項

包装については、荷傷みが生じないように、必要に応じスリーブ掛け等をおこなうものとする。

## 「入れ本数実証調査の参考事例」

### 1 バラ（品種：ローテ・ローゼ、サフィア、マカレナ（SP）

（単位：本）

階級	バケツ規格（単位：mm）			
cm	400×300	350×250	300×200	240×240
70	200	150（100）	100（50）	50
60	250（200）	150（100）	100（50）	100（50）
50	300	200	150	100
40	300	200	150	100
			200	

（注） 入れ本数は、流通実態を踏まえ50本を単位とした。  
 （ ）内は、ローテ等茎の太い品種の場合を示す。  
 400×300、350×250のバケツでは、その深さが30cm以上あり、階級30cm  
 ものが埋もれてしまうので、「-」とした。  
 実証調査は、平成15年7月に日本ばら切花協会の協力により実施した。

### 2 シュッコンカスミソウ（品種：雪ん子系、プリストルフェアリー）

（単位：本）

階級	バケツ規格（単位：mm）			
cm	400×300	350×250	300×200	240×240
80	50	40		30
70	60	50		50
60	100	80	50	50
50	200	150	100	100
40	200	200	100	100

（注） 70cm以上は、主茎切りで、それ以下は、枝切り・多茎切りでの入れ本数である。  
 （主茎切りと枝切り・多茎切りでは、ボリュームが異なる。）  
 実証調査に使用した300×200のバケツでは、70cm以上のものが倒れる可能性  
 があるので、「-」とした。  
 実証調査は、平成15年7月にJA熊本経済連の協力により実施した。

### 3 トルコギキョウ（品種：エクローサグリーン、エクローサピンクフラッシュ等）

（単位：本）

階級	バケツ規格（単位：mm）			
cm	400×300	350×250	300×200	240×240
80	50	40		30（20）
70	60	50		40（30）
60	100	80	50	50
50	120	100	60	60
40	150	120	80	80

（注） （ ）内は、ボリュームの大きい品種の場合を示す。  
 実証調査に使用した300×200のバケツでは、70cm以上のものが倒れる可能性  
 があるので、「-」とした。  
 実証調査は、平成15年7月にJA熊本経済連の協力により実施した。

(参考1)

「バケット低温流通を核とした切花流通における品質管理マニュアル(抜粋)」  
総括表のうち生産者(出荷者)

	項目	総合編
生産者 (出荷者)	採花	品目、品種、季節に応じて適切な切り前で採花する
		朝夕の涼しい時間帯に採花することが望ましい
		よく切れる刃物を用いて採花する
	水揚げ・前処理	できるだけ早く水揚げを行う
		容器と水は清潔なものを使用する
		品目に応じて、抗菌剤、STS、糖を含む前処理剤で処理する
		前処理用の溶液は必要量を調整し、毎回替えることが望ましい
		品目に応じて、低温下で水揚げ・前処理を行うことが望ましい (温帯性の品目は10以下、熱帯・亜熱帯性の品目は 10~15が望ましい)
	調整・選花・結束	作業は、直射日光の当たらない場所で、低温下で行うことが望ましい (夏季は25以下、それ以外の季節は20以下が望ましい)
		下葉や下枝を除去し、選花を行う
		水からあげている時間はできるだけ短くする
		選花場の衛生管理を徹底する
	出荷用バケット 関連作業	バケットはきれいな状態を保ったものを使う
		抗菌剤を主成分とする品質保持剤を使用する
		バケットには、小売店に届いた時点で水が切り口から離れない 程度の量の水を入れる
	保管・出荷	出荷前の切花は低温で保管する (温帯性の品目は10以下、熱帯・亜熱帯性の品目は 10~15が望ましい)
		採花から出荷までの時間を短くする

(参考2)

新花き生産流通システム研究会では花きの生産、流通、小売等の関係者が集まり、低コスト大量生産システムの構築、台車・バケット統一規格、新出荷規格の策定、流通環境整備、履歴情報システム等の課題について、合意形成と具体的な取組の促進を図っています。

その成果である下記の資料は、財団法人日本花普及センターのホームページからダウンロードできます。(http://www.jfpc.or.jp)

切花用バケットの統一規格

バケット低温流通を核とした切花流通における品質管理マニュアル

バケット低温流通を核とした切花の出荷規格

ホームユースサイズ多収栽培技術プロジェクト報告

(参考3)

## バケット低温流通実績

切花のバケット低温出荷量は、近年急速に増加し、平成15年には、切花出荷量全体の3.6%を占めている  
(再利用タイプ(1.6%)とワンウェイタイプ(2.0%)の合計)

### 1 再利用タイプのバケット低温流通実績の推移

年次	切花合計		キク		バラ		カーネーション		トルコギキョウ		カスミソウ	
	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)
平成8年	10	0.17	0	0.00	8	1.62	0	0.00				
平成9年	10	0.18	0	0.00	8	1.73	0	0.00				
平成10年	11	0.20	0	0.00	9	1.99	0	0.00				
平成11年	15	0.26	4	0.19	9	1.88	0	0.00				
平成12年	19	0.35	4	0.18	13	2.75	0.2	0.03				
平成13年	34	0.63	5	0.25	20	4.48	1	0.21				
平成14年	56	1.04	6	0.32	35	7.93	3	0.63				
平成15年	84	1.59	13	0.66	39	9.51	5	0.98	5	3.76	5	5.78

資料：出荷数量は農林水産省統計情報部「花き生産出荷統計」、バケット出荷数量は農林水産省生産局花き対策室及び(社)日本花き卸売市場協会調査注

- 1) 平成15年の出荷数量は概数値。
- 2) トルコギキョウ、カスミソウ、ガーベラは、H15年調査から実施。
- 3) その他の切花は、ガーベラ、アルストロメリア、デルフィニウム、ストックなど。
- 4) 調査対象卸売会社数は、164社。このうち、バケットの取扱い実績のある卸売会社数は、72社(前年比136%)。
- 5) 「バケット率」とは、全出荷量に対するバケット出荷量の割合。

\* バケット低温流通実績調査については、以下の要件を満たすものを対象とした。

出荷・輸送形態については、

プラスチック等のバケットに注水しそのまま出荷・輸送するもの、又は簡易な容器に注水し縦箱に入れるなどして出荷・輸送するもの

流通時については、

常時低温であること、又は出荷前の予冷や輸送時の冷凍車、卸売市場の冷蔵庫により、一時的に低温で流通しているもの

### 2 バケット低温流通実績

年次	切花合計		キク		バラ		カーネーション		トルコギキョウ		カスミソウ	
	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)	バケット出荷数量 (百万本)	バケット率 (%)
平成14年	106	1.96	7	0.36	60	13.76	3	0.68				
平成15年	189	3.55	13	0.67	72	17.37	9	1.88	13	10.54	27	33.75

資料：出荷数量は農林水産省統計情報部「花き生産出荷統計」、バケット出荷数量は農林水産省生産局花き対策室及び(社)日本花き卸売市場協会調査注

- 1) 「バケット低温流通実績」は、再利用タイプとワンウェイタイプの合計。この合計の調査はH14から実施。
- 2) 平成15年の出荷数量は、概数値。
- 3) その他の切花は、ガーベラ、アルストロメリア、デルフィニウム、ストックなど。
- 4) 「バケット率」とは、全出荷量に対するバケット出荷量の割合。

## 企画・編集・発行 新花き生産流通システム研究会

事務局：財団法人日本花普及センター

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3丁目6番17号  
山一ビル4F

TEL：03-3664-8739

FAX：03-3664-8743

E-mail：jfpcc@jfpcc.or.jp

http://www.jfpcc.or.jp